

第6期 麻生区区民会議 第2回全体会議

- 1 開催日時 平成28年11月15日（火）午後2時58分～午後4時50分閉会
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]  
安藤委員、池松委員、石井委員、植木委員、海崎委員、佐藤委員、  
佐野委員、菅野委員、鈴木（昭）委員、鈴木（隆）委員、関根委員、  
高倉委員、高橋委員、長岡委員、林委員、松田（基）委員、  
松田（通）委員、吉垣委員  
（欠席）緒方委員、橋本委員  
[参与]  
老沼参与、月本参与、山崎参与  
（欠席）雨笠参与、勝又参与、木庭参与、花輪参与、相原参与、石川参与  
[事務局]  
井上課長、福島担当係長、鈴木、佐藤、榎本  
[関係者]  
北沢区長、向坂副区長、小金井区民サービス部長、  
若尾保健福祉センター所長、猪又保健福祉センター副所長、  
木村保健福祉センター担当部長、鈴木道路公園センター所長、  
吉澤危機管理担当課長、中村地域振興課長、三枝生涯学習支援課長  
（欠席）川本総務課長
- 4 傍聴者 1人

## 第2回麻生区区民会議

日 時 平成28年11月15日（火）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後2時58分開会

### 1 開 会

植木委員長 それでは、定刻より少し早いかもしれませんが、出席の方が全員おそろいでございますので、第2回麻生区区民会議を開催いたしたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

1年ぶりではなくて、1カ月ぶりぐらいの出会いでございます。まだお互いに名前と顔が一致していないという状況でございますので、きょう、夕方は全員での懇親会を企画しております。ひとつお互いにどんな人間かということを知り合うようなことにさせていただきたいと思っております。

寒いような暑いような、非常に不安定な気候でございます。実は私も真冬の支度をしてきて、今、汗びっしょりになってお話をしているわけでございますけれども、皆さんも健康には十分ご留意されまして、委員の職務を全うしていただければなど、かように思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

なお、本日は部会の議題も大きな議題に入っております。今の会議では、総論とか、全体での方向等々のお話ししかできないと思うのでございますけれども、こんなことをやりたいとか、こうすべきだというお考えを既にお持ちの委員の方も多数いらっしゃるからお聞きしております。ぜひそちらのほうでいろいろな前向きな意見を言っていただければと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

### 2 議 事

植木委員長 それでは、本日の議事並びに資料につきまして、事務局より確認をお願いいたします。よろしくお願ひします。

事務局 それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

まずお手元の資料の一番上に本日の会議の次第がございまして、次に、資料1として、席次表、資料2として、第6期麻生区区民会議委員・参与名簿、資料3として、企画部会の意見を集約した「専門部会案」、資料4として、過去の審議テーマ～分類及び検証体制～、資料5として、第1期～5期麻生区区民会議提案の分類一案、資料6として、事前アンケートによる所属専門部会候補一覧（案）、資料7として、第6期区民会議広報・広聴について（案）、資料8として、第6期区民会議スケジュール（案）、それから、参考資料といたしまして、第6期麻生区区民会議運営要領、次に、第1回企画部会議事要旨、次に、麻生区町連だより11月号、次に、かわさき市政だよ

りあさお区版11月号、それから1枚、カラーのチラシがございます。地域包括支援センターへご相談ください！というチラシをいただいております。最後に、A4の横のホチキスどめをした、これは池松委員からの提供資料になっておりますけれども、ちょっと補足をさせていただきますと、この資料の冒頭のところに、「第6期会議における課題検討審議に先立ち、以下について共通の認識を持つてはどうでしょうか？」ということで、提案形式にはなってございますけれども、皆様への情報提供ということで配付をさせていただきます。

資料につきましては以上になります。資料に不足等ございましたら、事務局のほうへお申し出ください。よろしいでしょうか。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。先ほどの次第をごらんください。2の議事といたしまして、次の3点についてのご審議をお願いいたします。第1に、第6期麻生区区民会議調査・審議課題について、第2に、広報・広聴活動について、第3に、第6期区民会議スケジュールについて。

以上になります。委員長、よろしく願いいたします。

#### (1) 第6期麻生区区民会議における調査・審議課題について

##### ア 専門部会の設置について

植木委員長 それでは、議事に移らさせていただきたいと思えます。

まず、議事の1番目の第6期麻生区区民会議における調査・審議課題についての専門部会の設置についてに入りたいと思えます。

まず初めに、事務局のほうから、第1回企画部会での皆様の意見のまとめを説明願います。

事務局 それでは、事務局のほうからご説明させていただきます。

お手元に配付の資料のA3サイズの資料3、資料4、資料5をごらんいただけますでしょうか。まず初めに、資料3が、先日、企画部会ということで皆様にご審議いただきまして、いろいろな課題を出していただいたのですけれども、その課題を少し大きな枠に整理させていただいたものが、左から2行目の「企画部会で出された意見の整理」という項目でございます。こちらで皆様に先日のワークショップで出していた意見のある程度まとめさせていただいたものを一覧にしております。その上で右側に行きまして、さらに大きな分類をいたしまして、それをもとに専門部会案を2つ作成させていただきました。1つ目が、(仮称)市民活動・絆づくり検討部会でございます。こちらで皆様から多く出ましたボランティア情報センターですとか、高齢化に向けて、居場所づくり、市民活動、地域コミュニティ、地域の支え合い、絆づくり、地域防災など、こういったものを検討するというので、1つ部会を設けさせていただきます。

もう1つが、(仮称)麻生区の魅力の発掘・発信検討部会という部会名でございまして、こちらは麻生区の魅力を改めて確認するという事で、多くご意見がございました芸術のまち、農と環境など、こちらの発信方法の検討ですとか、子育て環境についての検討ですとか、第5期提言の「魅力PR委員会」についての検討ということで、そういった議題を検討させていただくという部会になってございます。

前回の企画部会で、皆様からもう1つ大きくご意見が出たものが、過去の提言の振り返りがございまして、それぞれの2つの部会の一番下に、上記に関連する過去の課題再検証ということで項目に挙げておりまして、この2つの部会に関連するものをあわせて検討させていただけないかということで考えてございます。

次に、資料4をごらんいただければと思います。こちらが皆様から多く意見のございました過去の区民会議で出た審議テーマですとか課題を一覧化したものでございます。一番左が過去の審議テーマと、それが出た第何期かということが記載されてございます。真ん中の行がそれに対しての課題となっております、こちらを我々事務局で少し大きな分類に分類させていただいたものが、その右の分類という項目でございます。こちらを分けていきますと、先ほどの資料3と同じように、市民活動・絆づくりに関するジャンルと、あと、麻生区の魅力の発掘・発信検討に関するジャンルという、2つのジャンルに分類することができるということで、こちらの2つの部会に分けて、その中で過去の議題について再検証していくということで、今後進めさせていただこうと考えてございます。

また、資料5なのですけれども、こちらは過去の議題を一覧化したものの、より詳しいものになってございます。一番左がそれが何期に出たかというものでございまして、次が審議テーマ、それに対する課題、いただいた提言と、それに対する取り組みが真ん中の行に書いてございます。一番右が、それがどうなったのかということ、前回の企画部会で皆様にご意見をいただきましたので、着手済みになっているのか、フォローが必要なのか、未着手なのか、引き継がれているのかということが記載されてございます。

例を挙げてご説明させていただきますと、まず1期の一番上の子どもの見守り～地域のつながり「あいさつ」がはじまり～という審議テーマでございまして、こちらが第3期、高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくりに引き継がれているというような内容になってございまして、ページを1枚おめくりいただきまして、2枚目になるのですが、上から3行目が第3期の取り組みになっておりまして、こちらの高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくりで、より詳しい内容ですとか、幅を広げた検討をさせていただきまして、上のほうで、広報活動ですと、市政だより特別号の発行ですとか、ガイドブックのような制度案内の冊子の紹介ですとか、そういったものを現在させていただいているということで、内容としては着手済みになっている、

そういった分類になっております。

専門部会になりましたら、こちらの資料を2つに分類させていただいたものを再度お示しいたしまして、そちらを1つ1つ再検証しながら、今期の議題を決めていくという流れでこの後進めさせていただければというふうに事務局としては考えております。

説明といたしましては以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。皆さんからのいろいろな意見を事務局のほうでご苦労なさってまとめていただいたようでございますけれども、ただいまの説明につきまして、ご質問とか、ご提案とか、そのようなものがございましたら、意見を頂戴したいのでございますが。

菅野委員 資料3ですけれども、分類の3行目、子ども、子育て環境が下の麻生区の魅力の発掘・発信検討部会に行っているのですね。これはもちろん間違っているとか何とかではないのですけれども、こちらのほうに入ってしまうと、子ども、子育て環境づくり、子育て支援、公園の利活用のあり方、方法についてという、いろいろな問題が置き去りにされるのかなと、むしろ市民活動・絆づくり検討部会、いわゆる地域コミュニティづくりに入ったほうが、これは解決していく問題ではないのかなと、そんなふうに考えますが。

植木委員長 ありがとうございます。今のご意見につきまして、いかがでございましょうか。

これは両方に入れるというわけにいかないんですよ。

菅野委員 両方入っても構わないのですけれども、下のほうに来ると置き去りにされるのかなという懸念を感じたものですから。

植木委員長 事務局としてはどうですか。

事務局 こちらはあくまでも大きなテーマで分けさせていただいたということでございまして、上の市民活動・絆づくりですとか、地域コミュニティに子育て環境も当然入ってくるかと思しますので、そういった関係に関する議題については、上のほうで話し合っていたかということで、それぞれ2つの部会で近いものを話し合っていたかき、企画部会のほうで重複した審議を行わないように調整することで進めさせていただければというふうに考えます。

植木委員長 それぞれの部会でそれなりにまた検討いただくという形で進めていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

そのほか、ご意見はございますでしょうか。

海崎委員 資料3の専門部会案の説明が、後々ずっといきると思うんですよ。それで、左側に細かいことがあるのですが、とにかく忘れないようにしたほうがいいと思うんですね。キーワードが抜けちゃうと。私が気がついたのが、過去の審議でも、障害者と

か、弱者の話をさせていただきましたけれども、ヤングファミリーという話もグループミーティングでありましたが、共働きの家庭とか、その辺のニュアンスが抜けちゃうと、それをどうやるかは別ですけれども、抜けちゃうとちょっとまずいと思っているので。皆さんは多分合意されているので、市民活動・絆づくり検討部会に入れるか、麻生区の魅力の発掘・発信検討部会に入れるかはいろいろあるのですけれども、例えば（仮称）市民活動・絆づくり検討部会の中の丸の1つとしてそんなことを記入していろいろ検討されたらどうかというようなことで、一言入れてほしいなと思っているんですよ。せっかく話したのに忘れちゃうということがありますのでね。

植木委員長 貴重な意見、ありがとうございます。これについてはいかがですか。基本的に部会のほうで議論の中でそこら辺を含めて考えればよろしいのではないかと思いますので、ぜひ部会の中で積極的に発言をお願いしたいと思っております。

それ以外にご意見はございますでしょうか。

石井委員 ぱんと2つに分かれていますけれども、実はこれは行ったり来たりするのはいつものことなので。発掘・発信が市民活動・絆づくりとつながる、これは行ったり来たりするのは当たり前のことかなと思っておりますので、その辺に配慮しながら部会を進めていただければと思います。

植木委員長 そこら辺は企画部会というのがありますので、調整をしていただければと感じておりますので、よろしく願います。

これにつきましては、大体ご意見も出たようでございますので、今の説明と、それから、皆さんの意見を踏まえまして、大きく2つの分類で進めていきたいと思っております。結論から言いますと、第6期区民会議では、（仮称）市民活動・絆づくりと（仮称）麻生区の魅力の発掘・発信の2つのテーマで、これから調査・審議を深めていきたいと考えております。そういうことで、この2つのテーマで専門部会を設置するというので、皆さんのご承認をいただけるのでございましたら、拍手をいただきたいと思っております。

〔 拍手 〕

植木委員長 ありがとうございます。全員の方からご承認をいただきましたので、これから専門部会で議論を深めていきたいと思っております。

#### イ 専門部会の委員について

植木委員長 続きまして、部会の承認につきましては、2つの部会の承認をいただきましたので、議事のイの専門部会の委員について審議を行いたいと思っております。

前もってどちらの部会に所属したいかアンケートをいただいておりますので、どちらでもいいという方もいらっしゃいましたので、人数的に案分になるような形で、とりあえずつくらせていただいております。いかがでございましょうか。この案につ

きまして、自分の思いと違うとか、そんなことがありましたら、この際、言っていたきたいのですが。よろしいですか。皆さん、自分の意見で、そういう形で出されたので。

それでは、専門部会の委員の一覧、今後の活動のベースになりますけれども、ご承認をいただくということで拍手をいただきたいと思います。

[ 拍手 ]

植木委員長 ありがとうございます。

## (2) 広報・広聴活動について

植木委員長 それでは、次の議事の2番目、広報・広聴活動についてに入っていきたいと思います。

区民会議運営要領第6条第2項第3号にありますとおり、区民会議の広報・広聴活動については企画部会で行うということになっておりますが、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、事務局のほうから説明させていただきます。麻生区役所企画課担当係長の福島と申します。よろしくをお願いいたします。

資料7の第6期麻生区区民会議広報・広聴について（案）について説明させていただきます。

こちらの資料はあくまでもたたき台ということでございまして、委員長がおっしゃったように、今後、企画部会のほうでもんでいただくという形になりますが、ひとまず基本的な形を説明したいと思います。

まず、広報活動についてでございますが、かわさき市民アンケートというものがありまして、そこで、3年に1度、区民会議の認知度の調査をしております、最新のデータが平成26年ということで、ちょっと古いものになりますが、この数字をもとにご説明をさせていただきます。

認知度をはかる指標であります区民会議について、「知っている」の合計は、平成26年度の調査で、麻生区では26.7%の回答がございました。参考に、その前の平成23年度ですと22.2%でしたので、徐々に上がってきている状況ではございます。また、こちらには載せておりませんが、市全体の平均は25.5%ですので、市内では比較的高いほうでございますが、3割未満とまだ低い状況にあるということでございますので、第6期に関しましても、引き続き区民の認知度の向上を目指して活動を展開する必要があると考えております。

その方法でございますが、まず(1)区民会議ニュースというものがございます。こちらは町内会・自治会のご協力をいただきまして、例年3から4回、回覧させていただいているというところでございます。

その他のPR活動としまして、(2)に参加しますが、第4期区民会議から力を入れてきたところですが、各種地域情報誌の活用ということでございまして、マイタウン、タウンニュース、メディ・あさおというところに積極的に情報提供いたしまして、掲載をしていただいております。参考までに、タウンニュースに区民会議が紹介された記事も横に掲載してございます。

さらに、市政だよりであるとか、区のホームページの活用、また、現在もご協力いただいておりますが、今後も麻生区の町会連合会に協力をいただきながら進めていく必要があるかなというふうに考えてございます。

2の広聴活動でございますが、こちらの提案箱であるとか、ホームページの活用ということで、件数的には平成26年度が1件、平成27年度が4件、平成28年度が4件ということで、やや少ない形でございますが、こちらも区民会議ニュース等を使いまして、区民の意見を広く集めていければと考えております。

説明は以上でございます。

植木委員長 ありがとうございます。それでは、今の事務局の説明がありました内容につきまして、何かご意見がある方がいらっしゃれば、ご意見を頂戴したいのですが。

私、個人的にはいろいろ意見は持っておりますけれども、それは企画部会の中で具体的にこんなことをやったらどうだとか、ここが足りないんだとか、そんなようなことを検討していったら、私はとにかく傍聴する方が多くいらしてくるような区民会議でありたいなと思っております。きょうは前回の副委員長の岡倉さんが傍聴していただいておりますけれども、そういうような形でいろいろな方が傍聴していただけるような、そんな区民会議でありたいなと思っております。企画部会の中でさらに議論を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

池松委員 今回の意見にちょっと関連するんですが、区のホームページをいつも拝見しておりますけれども、情報が遅過ぎるんですね。結果が1カ月か2カ月ぐらいに公表されるというような形に今なっております。できれば、できるだけ早いほうがいいという気がしますし、それと、次回何をやるのかということが少しわかるほうが興味を持ってもらえるかなと思うので、どうも終わったやつを1カ月後に載せてもらったって、じゃ、聞きにいかうかという気にもならないと思うのですね。その辺を少し工夫ができるかどうか、事務局の問題だと思うのですが。

事務局 資料とあわせた摘録というか、会議録も含めて公開しているという関係で、皆さんの確認をもって出しているということがございますので、多少時間をいただくのはやむを得ない部分があるかなと思っておりますが、できる限り早くに掲載していきたいと思っております。委員長からも広報をしっかり力を入れろというのは事務局のほうに指示が出ております。例えば今回、11月15日に区民会議を開催しますという形で

区のホームページに掲載したりであるとか、少し工夫はしておりますので、もし何かご意見があれば、おっしゃっていただければ、区のほうで対応できれば対応していきたいと考えております。

植木委員長 積極的な意見、ありがとうございます。いずれにいたしましても、いいことをやっても、それは知ってもらわなければ何も意味がないと思います。そこら辺は非常に重要なことだと思いますので、行政の方にもひとつお力添えをいただきたいと思っております。

それでは、今、検討していただきました広報につきましては、企画部会に一任して進めるということにつきまして承認をいただければと思いますので、これも拍手でご承認いただければと思います。

[ 拍手 ]

植木委員長 ありがとうございます。

### (3) 第6期区民会議スケジュールについて

植木委員長 それでは、議事の3番目、区民会議のスケジュールに入っていきたいと思えます。事務局のほうからご説明をお願い申し上げます。

事務局 それでは、第6期区民会議スケジュール（案）についてご説明させていただきます。

資料8のA3のペーパーをごらんください。こちらが第6期区民会議の2年間のスケジュールを一覧で見られるようにしております。今、第2回全体会議を開催しております、その後の予定でございますが、年内、12月中に、先ほどご承認いただきました市民活動・絆づくりと、麻生区の魅力の発掘・発信の専門部会を1回ずつそれぞれ開催できればと考えておまして、こちらのほうで正副部会長を正式に決定していくということと、調査・審議を実際にスタートしていくということになります。各部会で正副部会長が決まりましたら、企画部会のメンバーが正式に確定いたしますので、1月には第2回の企画部会、第1回が、この前の全員参加型でございましたので、第2回は正式なメンバーでの部会ということでスタートいたします。その後のスケジュールにつきまして、各部会のほうで調整していただきまして、回数を決めていただければと考えてございます。

なお、全体会につきましては、大体4カ月に1回程度、今後ですと、3月、7月、11月、おおむねそのぐらいの月のペースでやっていきまして、平成29年5月に最終的な提言を確定していただくスケジュールになるというふうに考えてございます。また、全体会の日時についてでございますが、以前、皆様に区民会議の開催スケジュールを確認させていただいたところ、第3火曜日の午後であれば決まった予定はないということでご回答をいただいておりますので、全体会議の日程につきまして、原則、

第3火曜日の15時からというふうにさせていただきたいと考えてございます。そのため、次回の3月の全体会議につきましては、3月21日、火曜日の15時からとさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

説明につきましては以上でございます。

植木委員長 スケジュールにつきまして、今ご説明がございました。第1回専門部会を12月に開催するという事、これはきょう専門部会の中でいろいろと決めていただくことだと思えますけれども、正副部会長の選出等をしていただき、また、第2回企画部会を1月に開催し、企画部会の正副部会長を選出する、第3回全体会議でもって報告を皆様にするという形でよろしいでしょうかというのが1点。

それから、もう1点は、第2回以降の専門部会につきましては、各部会ごとに開催頻度などを決めていただきたいと思いますと思っております。この2点につきまして承認をいただければ、そのように進めさせていただきたいと思えますが、いかがでございましょうか。拍手でひとつお願いしたいと思えます。

[ 拍手 ]

植木委員長 とんとんとと議事が進んでまいりまして、ありがとうございます。きょうはこれから大変重要なこととございますので、まず、全体会議での議事につきましては以上となります。ここで一区切りとさせていただきたいと思えます。せっかくの機会とございますので、ここで解散ということではなく、部会ごとに打ち合わせをこれからしていただきまして、正副部会長と企画部会のメンバーの候補を決めさせていただきたいと思えます。その部会の後、また全員で集まっていただいて、情報を共有させていただきたいと考えておりますので、その流れで進めていきたいと思えますが、よろしいでしょうか。拍手でひとつお願いいたします。

[ 拍手 ]

植木委員長 では、そういう形でこれから進めさせていただきます。

#### (4) その他

植木委員長 きょうはお忙しい中ご出席くださいました山崎参与に、ご印象なり、何かをお願いしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

山崎参与 皆様、お疲れさまでございます。第6期を迎えました麻生区区民会議でございまして、これから本格的な審議が始まると思えますけれども、ぜひ皆様の提言というのが、この麻生区、そしてまた川崎市の発展につながるように、私も努力してまいりたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。力強いご意見をいただきまして、大変心強く思っております。参与の皆様には、今後とも区民会議のご助言をお願い申し上げます。

それでは、最後に、本日の審議を踏まえ、北沢区長よりご挨拶をお願いいたしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

区長 皆さん、お疲れさまです。熱心なご討議というか、これまでここに行き着くまでもいろいろなご意見がありました。ありがとうござひました。きょう、第2回ということですが、いよいよ専門部会に分かれて討議していただく形になりました。仮称ではありますけれども、市民活動・絆づくり検討部会と、それから、麻生区の魅力の発掘・発信検討部会ということで、これまで5期にわたって10年間、区民会議に携わってきていただいた委員の皆様のご意見等、それから、検討経過についても踏まえた上でやっぺいこうという、すごく画期的で、大変にありがたひご意見もいただひているところですので、期待したいところです。この専門部会のテーマ、永久的なテーマかなというところもあります。また、今年度に入っぺ、地域包括ケアシステムの取り組みなども区としても行っぺているところではありますので、社会変化に対応した形で進めていただひき、先ほど委員長の方からも広報が重要だよなというお話がありました。審議していただひている内容が広く区民の皆様方に理解できるような形で広報していくことが本当に重要だろうと思っぺております。広報があっぺて広聴があるのかと思ひますので、さらに皆様方からいろいろなご意見をいただけるように、そして、まとまっぺいくところを期待させていただひて、簡単ではありまするが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。(拍手)

植木委員長 ありがとうござひました。また心強いお話を頂戴いたしまっぺて、ぜひそのように進めていただければと思っぺております。

そういうことで、本日の議事はここで一区切りとさせていただきます、ここからは各部会ごとの打ち合わせに移らせていただひきたいと思ひます。

なお、傍聴を希望される方はそのままお残りくださっぺて結構ではあります。

それでは、専門部会ごとにこれから正副部会長の候補、専門部会の開催日程の調整、専門部会の具体的な進め方について打ち合わせをお願ひしたいと思ひます。正副部会長の正式な決定は各部会開催時ということになります。部会ごとに打ち合わせ後、一度、内容について情報を共有したいと思ひますので、打ち合わせ後に発表をお願ひしたいと思ひます。

それでは、16時45分まで、あと1時間ちょっとありますかね、時間を十分にとることができましたので、みっちりいろいろな打ち合わせをしていただひきたいと思ひます。

場所につきましては移動ということで、これは事務局の方からご説明をお願ひします。

事務局 市民活動・絆づくり部会の方はこちらでこのままお座りいただきまっぺて、麻生区の魅力の発掘・発信部会の方は第5会議室の方へ移動していただきまっぺて、部会

の議論を進めていただければと思います。

植木委員長 席の移動とかがあると思いますので、40分からやりましょう。その間、休憩ということにさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

[各部会ごとに打ち合わせ]

植木委員長 専門部会ごとに正副部会長等々議論をいろいろしていただいたようでございますけれども、それではまず、市民活動・絆づくり部会のほうからご説明をいただきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

池松委員 池松でございます。余り適任ではないと自分では思っておるのですが、部会長に決まりましたので、よろしくお願いいたします。それから、副部会長に若手の方ということで、鈴木さんになっていただいております。(拍手)

この会議で正副部会長を決めるのが役割だったのですが、それぞれ皆さん方の思いやそういったことを知ってもらう必要があるということで、委員の皆さんにそれぞれご自分のご意見、思いを語っていただきました。皆さん方、熱い思いをいろいろな問題について持っておられるということを押見しました。こういった思いが具体的な取り組みになって、区民のほうにちゃんと届いて、しかも、区民に参加してもらえりような提案ができたというふうに思います。そのためにどういうふうに工夫したらいいかということも皆さんと一緒に考えてながら、できるだけ区民に溶け込んだ形で展開していくということで取り組んでいきたいと思っております。そして、結果、私たちのまちが住みよいまちになり、私たちがそれに参加している形になっていくことを念頭に置きながら、今後の審議、検討を進めていければというふうに思っております。よろしくお願いいたします。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。それでは、鈴木さん、一言。

鈴木(隆)委員 鈴木でございます。話の中で、全ての区民のためにというキーワードがございました。この気持ちを持ちながら、絆づくり、市民のために検討を進めていきたいと思っております。

以上でございます。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。

では、引き続きまして、10分以上オーバーして熱心に検討いただきました麻生区の魅力の発掘・発信検討部会の説明をお願いいたします。

林副委員長 麻生区の魅力の発掘・発信検討部会ということで、私が部会長に内定ということになりました林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。副部会長には高倉さんが手を挙げてくださりまして、大変ベテランということで、心強い限りでございますので、喜んでおります。そして、私が副委員長で重なっておりますので、企

画部会のほうには菅野さんが行ってくださるというふうにお申し出いただきましたので、ご報告申し上げます。

私たちの部会では、次回に向けましては、まずは新しい方が何人かいらっしゃって、それも大変若い方が私どもの部会にはいらっしゃいますので、まず麻生区の特徴をもう一度おさらいしましょうということで、そのような資料をご用意いただくことにして、麻生区ってどんなまちなのか、人口構成に始まって、さまざまな方面から麻生区についてまずは学ぶということから始めようと考えております。そして、皆さんからそれぞれの委員さんが持っていらっしゃる意見については、それぞれに資料を出していただいたり、ご意見を伺ったりしながら、1つ1つのテーマをみんなで一緒に考えるというところから始めましょうということで、次回の会議を持つことにいたしております。そして、さらに、JAのほうから安藤さんにいらしていただいている、私たちが魅力と感じていることが実は麻生区の課題であるかもしれないというところで、農の現状については少し学習させていただくということでお約束しております。それから、地域コミュニティについてなのですけれども、先ほど全体会議で菅野委員からご意見がありましたけれども、市民活動・絆づくり部会のほうに地域コミュニティあるよね、そして、子育てに関してもやはり地域コミュニティではないかというようなご意見もありましたけれども、私どもの魅力の発掘・発信検討部会のほうでも、地域コミュニティが1つの魅力でもあったりするのです、あわせて検討させていただく方向性も持つということでお話し合いをさせていただいております。企画部会の中で調整しながら進めていくことになるかと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

植木委員長 それでは、高倉委員、お願いします。

高倉委員 高倉でございます。副部会長ということで、林部会長をお助けするという事です。きょう、話した中でも、メンバーの皆さんからいろいろ話があって、非常に幅広い話、過去の課題の話から全部出ましたけれども、そういった意味で、当分はいろいろなこと、また、新たなものが勉強になって、吸収できるなどと思って、非常にわくわくドキドキしながら専門部会に臨めればということで思っております。間違ってもわくわくはらはらすることのないように、しっかり林部会長を支えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。(拍手)

植木委員長 それでは、菅野委員。

菅野委員 絆づくり検討部会は若手からということで、こちらの部会は年上のほうからということで、私が出ますので、よろしくお願いいたします。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。ただいまそれぞれの部会から説明がございましたけれども、具体的な審議等につきましては、部会ごとに進めていただければと思っております。

先ほど企画部会の構成についてお話がございましたけれども、企画部会の委員は、運営要領第6条で正副委員長、それから、専門部会の正副部会長で構成するとなっております。ただし、今お話がありましたように、副委員長が専門部会の部会長になった場合は、バランスをとるという関係で、そちらの部会から1名ご推薦をいただくということで、今回、菅野委員がその任を担っていくことになりましたので、よろしくお願い申し上げます。

これにつきましては、一応皆さんで承認をいただきたいのでございますが、いかがでございましょうか。

〔拍手〕

植木委員長 ありがとうございます。正式な企画部会につきましては、第1回の専門部会において、正副部会長、内定をしておりますけれども、正式に決定次第、開催していくこととなります。よろしくお願い申し上げます。

きょうの議事はこれまででございますけれども、前向きなご提案なり、何かございましたらいただきたいと思いますが。そのようなことで、大変長い時間、議論をいただいたわけでございますけれども、老沼参与がこちらに来ておりますので、何かご意見をいただければと思います。

老沼参与 皆さん、本日のご議論、大変にお疲れさまでございました。そしてまた、遅参をいたしまして大変失礼いたしました。参与を務めさせていただきます、老沼純と申します。

川崎市も来年どうなるかということで思いながら話を伺わせていただいたのですが、来年4月からは小児医療費制度、小学校6年生まで拡大になることが、先日の議会で決まりました。そして、全体では川崎市では9月、麻生区からは12月、中学校の完全給食が始まる予定になっております。そういったことに遅れずに、そして、麻生区としてはさらに前に行くような活動をぜひしていただきたいと私も期待しているところでございます。今回、2つの部会が新しく立ち上がり、部会長を初め、皆さんのお力をおかりしながら、この麻生区政を進める、そして、裏で頑張らせていただければと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。本日はお疲れさまでございました。ありがとうございます。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。これからもいろいろご助言をいただければと思っておりますので、よろしくお願いいたしたいと思っております。

### 3 閉会

植木委員長 以上をもちまして、第2回麻生区区民会議を終了いたします。長時間にわたりますご審議、ありがとうございました。

午後4時50分閉会